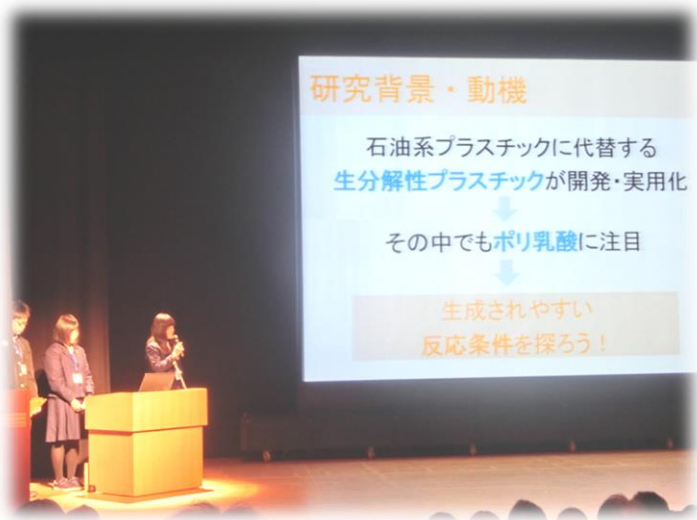


SSH 東北地区サイエンスコミュニティー研究校発表会

「月の満ち欠けと表面下温度の関係」が優秀賞を受賞

SSH 東北地区サイエンスコミュニティー研究校発表会が1月27日、28日に福島県の「福島市子どもの夢を育む施設こむこむ」を会場に開催され、ポスター発表部門で水沢高校代表「月の満ち欠けと表面下温度の関係」が優秀賞を受賞しました。SSH 東北地区サイエンスコミュニティー研究校発表会は、東北六県のSSH 研究開発関連高校16校が参加し、口頭発表15題、ポスター発表28題の課題研究発表会が行われました。本校からは受賞した地学分野の研究の他に、1月20日の課題研究発表会で評価の高かった「生分解性プラスチックの合成—PLAの直接重合—」（化学：口頭発表）、「光と種子発芽に関する研究 第7報—レタス種子の発芽に関する研究—」（生物：ポスター発表）の合計3グループが参加しました。口頭発表の化学グループは、パフォーマンスも加えながら堂々と発表し、質問に対しても落ち着いて答えていました。また、ポスター発表の生物グループは、積極的に自分たちの研究を説明し、質問や意見交換を通して貴重な体験をしました。そして、レベルの高い東北地区のSSH校の研究に触れてたくさんの刺激を受けました。



「生分解性プラスチックの合成」大ホールで大勢の聴衆に堂々と発表



混雑する会場で「光と種子発芽の研究」を発表し、交流できました

優秀賞を受賞した「月の満ち欠けと表面下温度の関係」グループの喜びのコメント

私たちは昨年度の先輩の継続研究として、国立天文台水沢VLBI観測所の協力のもと、電波望遠鏡を使った月の温度に関する研究を行っています。今回、福島市で行われた発表会では、他校との交流を通して自分たちの研究を伝える難しさや他校の発表の良さを学ぶ良い機会にする事ができました。この経験を生かし、今後更に良い研究にしていけるよう頑張ります。

「月の満ち欠けと表面下温度の関係」と「生分解性プラスチックの合成—PLAの直接重合—」のグループは2月20日（木）に富士大学を会場に行われる岩手県高等学校理数科課題研究発表会でも水沢高校の代表として口頭発表します。活躍に期待します。